

<久しぶりのオンラインによる授業配信>

校長 佐藤 幹彦



ご存じのとおり、新型コロナウイルス感染症は5月8日付で5類感染症に移行しましたが、報道等によると、このところ、本県も含めて全国的に感染者が急増しているようです。「5類感染症に移行してもウィルスの性質が変わるわけではない」…感染力の強さは相変わらずのようです。



本校でも、特に2年生で陽性者が急増し、昨日（10日）の朝、1クラスを学級早退・学級閉鎖としましたが、その後、他クラスも含めた欠席者や早退者の中から、「陽性」の診断を受けた生徒が続出しました。そして、2年生の複数学級を学級閉鎖にしなければならないような状況となったため、現段階での国の対応ガイドラインを踏まえながら市教委及び学校医に相談の上、14日（金）までの学年閉鎖を決めました。



本日（11日）より4日間は、昨年度までと同様に「コロナで学びを止めない」ということを大切にして、オンライン授業ができる教科については配信を行っていきます。教師にとっても久しぶりのオンライン授業で、写真のように目の前に生徒がいないためとてもさみしく感じますが、双方向のコミュニケーションがとれるようになると、普段の授業と同じ感覚で授業が進められるようです。

間もなく夏休みを迎えますが、保護者の皆様におかれましては、先述のような現在の学校の状況等についてご理解いただくとともに、今後も「健康状態の把握」「適切な換気」「手洗い等の手指衛生や咳エチケット」といった基本的な感染予防対策について、ご家庭でもご留意願います。また、学級閉鎖等の非常時や夏休み中の学級連絡・確認時におけるオンライン配信についても、ご理解ご協力いただきますよう、併せてよろしくお願いいたします。